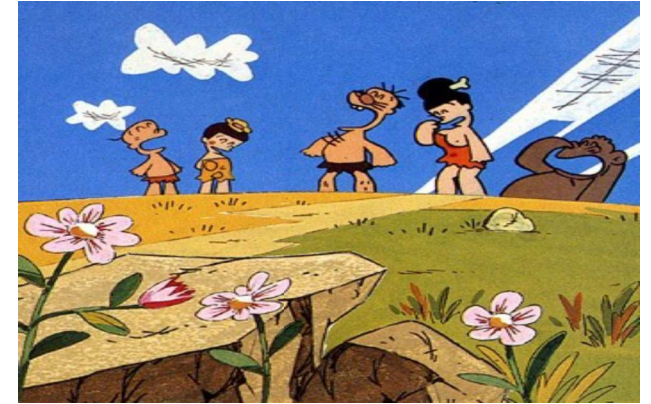




自己表現活動の日本語教育 を考えよう！



西口光一
広島大学
森戸国際高等教育学院
koichin@hiroshima-u.ac.jp

□ **したかったこと = 日本語教育の革新**

□ **日本語教育の革新のための道筋**

ルート 1 教員養成から

ルート 2 教員の研修

ルート 3 実際の日本語コースの革新

□ **日本語コースの革新**

アプローチの問題か？ ⇒ No！

根本的な教育構想と教育企画の問題！！

※ 具体的な教育の運営や授業の実践等は二の次。それらは、新たな教育の構想と企画の後に続くもの。

□ 新たな日本語教育の構想 — 大学における日本語教育の場合

1. 大学における日本語教育の目標

日本語ユーザーとして自己を「存在せしめ」、教養ある日本語ユーザーとしてその他の教養ある日本語ユーザーたちと交わり、交流することができるようになる。

2. 初級日本語教育ではなく、**基礎日本語教育**。(中級は**テーマで学ぶ中級日本語教育**。)

☆ 学習言語事項からの脱却！ ⇒ しかし、言語事項習得の**期待経路**は用意しておく！

⇒ (近接的) 表現活動従事が先で、言葉 (言語事項) は後！

3. **実質的な内容のある日本語言語活動重視！** — 「正しく日本語が話せる/書ける/理解できる」重視ではなく、実用的なコミュニケーション重視でもなく。

⇒ 「正しく」は徐々に！ 実用的なコミュニケーションは付加的に！

※ 内容が言えていない段階での「正しさ」は不毛。しかし、内容が言えるようになってからの「正しさ」は重要。

※ 内容が言えるようになったら実用的なコミュニケーションはかなり達成できる。(内容が言えないと達成できない。) かなり達成できるようになってから体裁を整える。

□ 新たな**基礎力形成**の日本語教育の構想 — ~~大学における日本語教育の場合~~

1. ~~大学における日本語教育の目標~~

日本語ユーザーとして自己を「存在せしめ」、~~教養ある日本語ユーザーとしてその他の教養ある日本語ユーザーたちと交わり、交流することができるようになる。~~

⇒ それにはもちろん、日本語という表現や文の体裁としての文型・文法などの**日本語技量**が関わる。（丁寧さや「他者尊重」は、当面はその態度を示すことでよい。）

2. 初級日本語教育ではなく、**基礎日本語教育**。（中級は**テーマで学ぶ中級日本語教育**。）

☆ 学習言語事項からの脱却！ ⇒ しかし、言語事項習得の**期待経路**は用意しておく！

⇒ （近接的）表現活動従事が先で、言葉（言語事項）は後！

3. **実質的な内容のある日本語言語活動重視！** — 「正しく日本語が話せる/書ける/理解できる」重視ではなく、実用的なコミュニケーション重視でもなく。

⇒ 「正しく」は徐々に！ 実用的なコミュニケーションは付加的に！

※ 内容が言えていない段階での「正しさ」は不毛。しかし、内容が言えるようになってからの「正しさ」は重要。

※ 内容が言えるようになったら実用的なコミュニケーションはかなり達成できる。（内容が言えないと達成できない。）かなり達成できるようになってから体裁を整える。

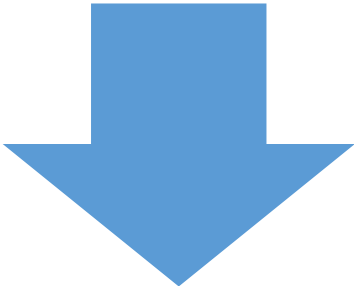
□ 自己表現活動中心の基礎日本語教育

- ・ 話題に基づく各ユニット
- ・ 各ユニットで、ユニットの話題について、話せる、聞いて理解できる、相互行為（会話）ができる、を達成する。そして、それらを可能にする日本語の表現や文型・文法を習得する。
※ 優先されるのは実質的な内容に関わる語彙。（語彙習得の期待経路）
- ・ 話題に基づくユニットの系列で、文型・文法を系統的に習得する。（文型・文法習得の期待経路）

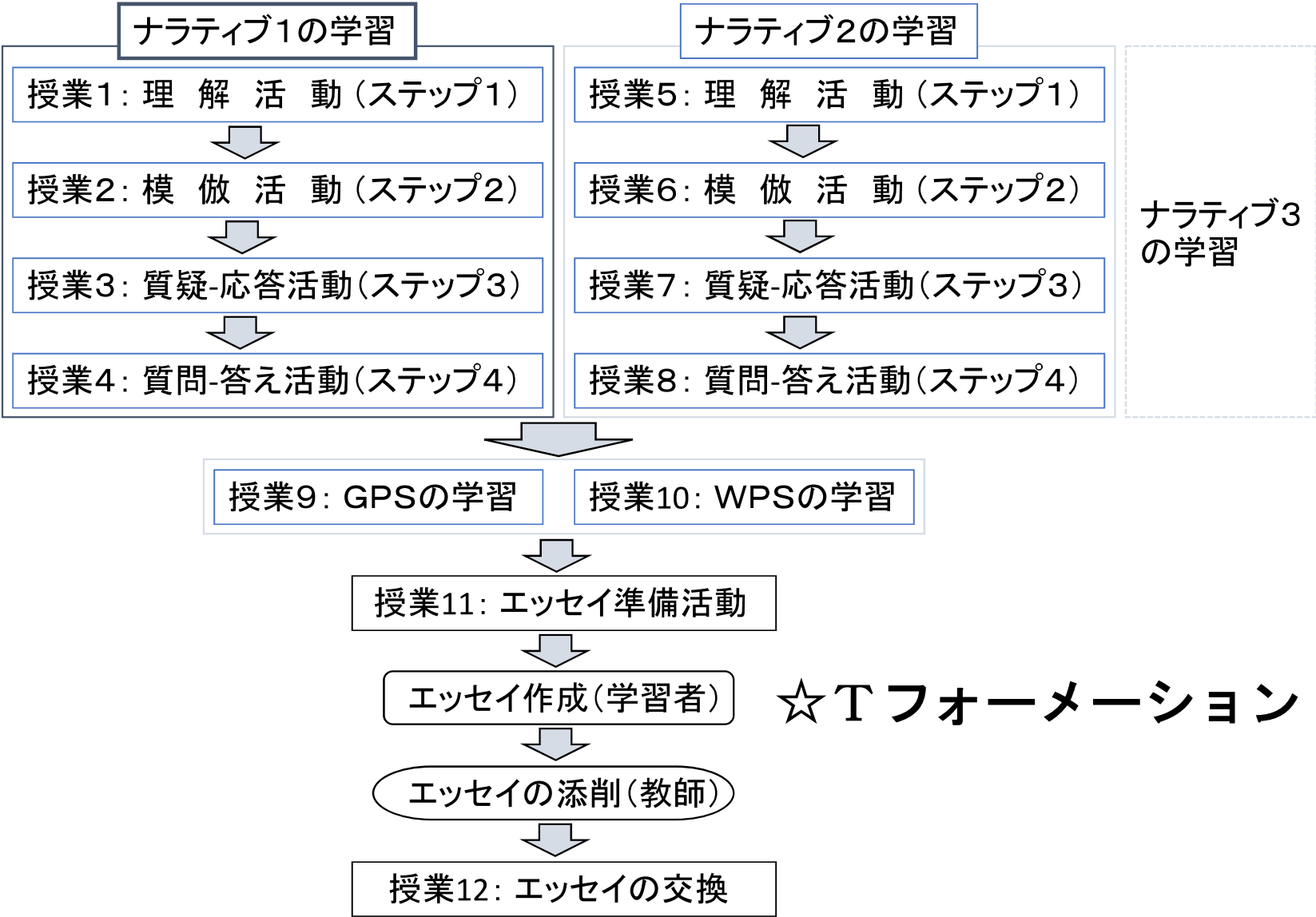
□ マスターテキスト ※ 具体的な方法は、西口(2015) のpp.110-115。

1. 話題についての**言語活動技量**（communicative capacity）を育成するための学習と教授-学習活動のプラットフォームor基本リソースとなる**マスターテキスト**（＝ナラティブ）
 2. マスターテキストを学習することで、「他者」（登場人物）のその話題についての事情を知り、その事情を表現する日本語（**言葉遣い**）を知る。そして、「**盗み取る**」（borrow）！
 3. マスターテキスト（の言葉遣い）を**まねる**ことで自分自身のナラティブを形成・獲得・習得する。
 4. ナラティブを交換することを通して、さまざまな「他者」（他の学習者）のその話題についての事情を知り、その事情を表現する日本語（**言葉遣い**）にさらに**習熟する**。
- ⇒ すべての学習と教授-学習活動は、**言語活動技量を育成するため！！** 言語技能の訓練ではない！

□ ユニットの授業プラン（教育の運営）
※ 西口(2015) pp.116-119



□ 授業の実践
※ 西口(2020)



参考文献

論文・著書など

- 西口光一(1995)『日本語教授法を理解する本 ― 歴史と理論編』バベルプレス
- 西口光一(2012)『『教育』分野―日本語教育研究の回顧と展望』『日本語教育』153号
- 西口光一(2013)『第二言語教育におけるバフチンの視点 ― 第二言語教育学の基盤として』くろしお出版
- 西口光一(2015)『対話原理と第二言語の習得と教育 ― 第二言語教育におけるバフチンのアプローチ』くろしお出版
- 西口光一(2020)『新次元の日本語教育の理論と企画と実践 ― 第二言語教育学と表現活動中心のアプローチ』くろしお出版
- 西口光一(2020)『第二言語教育のためのことば学 ― 人文・社会科学から読み解く対話論的な言語観』福村出版
- 西口光一編著(2021)『思考と言語の実践活動へ ― 日本語教育における表現活動の意義と可能性』ココ出版
- 西口光一(2022)『メルロ＝ポンティの言語論のエッセンス ― 身体性の哲学、オートポイエーシス、対話原理』福村出版

日本語教材など

- 西口光一(2011)『基礎日本語文法教本(新装版)』(英中韓ポ) アルク
- 西口光一(2012-2014)『NEJ ― テーマで学ぶ基礎日本語』vol.1 & vol.2 (英語版、中国語版、ベトナム語版) くろしお出版
- 西口光一(2012)『NEJ 指導参考書』くろしお出版
- 西口光一(2018)『NIJ ― テーマで学ぶ中級日本語』くろしお出版
- 西口光一(2014/2017)『みんなの日本語初級 漢字』(英語版、ベトナム語版、韓国語版) スリーエーネットワーク

Web関係

※ 西口光一note: <https://note.com/koichinishi/>

※ 西口光一facebook

※ Twitter: <https://twitter.com/koichishinmachi>

※ ことば学カフェ: <https://www.facebook.com/groups/651051895755011>

※ 日本語教育・日本語教師再生塾:

https://www.facebook.com/groups/359558961705710/?modal=false&should_open_composer=false

※ メールマガジン「NJ研究会フォーラム・マンスリー」(<https://www.mag2.com/m/0001672602.html>)

※ 過去の論文などは、CiNiiで。